

インターゼミ・サービスエンターテインメント班の報告

＜訪日リピーター客を増やす～SNSを利用して日本の文化を発信～＞

2015 インターゼミ サービスエンターテインメント班

要約

SNSを利用して日本の文化を発信することで、訪日リピーター客を増やすための方策を探り、提案する。日本の文化としては、日本食文化と沖縄の文化に焦点を当て、「留学生による体験」をキーワードとしてSNSでの発信を行う。

1. 研究背景

訪日外国人観光客数は2014年に1300万人を突破し、IR法案が国会で審議される中で、ますます観光立国が日本の重要な課題となっている。また、沖縄は戦後70年をむかえ、日本国内だけでなくアジアにおける沖縄の位置づけに改めて向き合う時が訪れている。こうした問題意識から、訪日外国人観光客の約8割が訪日目的として挙げる日本食文化と、沖縄の文化の2つに焦点を当てる。

2. 研究目的

地域住民主体で観光資源を発掘し、プログラム化する「着地型観光」の重要性が高まる中で求められるのは、観光客と地元住民をつなぐことである。そのために、「留学生による体験」をキーワードとしてSNSでの発信を行い、訪日リピーター客増加につながる方策を探り、提案することを目的とする。

3. 研究方法

(ア) 日本食文化について

「伝統的日本文化の神髄」とされる懐石料理を留学生と共に体験し、留学生にはその体験をSNSで出身国・地域に発信してもらう。

(イ) 沖縄の文化について

東京の沖縄県人会と共に観光資源の発掘を行い、留学生にはそこで出てきた沖縄の文化を体験し、SNSで出身国・地域に発信してもらう。

4. 今後の展望

日本食文化と沖縄の文化、2つの違いをあえて際立たせることで、1つの日本文化でなく、日本の文化の多様性を発信していきたい。